

岐阜県産霜降り豚肉の生産技術

所属：畜産研究所 養豚研究部
氏名：吉岡 豪

(要旨)消費者は、良質(良い肉色、ドリップロスが少ない、霜降り割合が多い)で美味しい豚肉を要求している。そこで我々は、豚肉の「霜降り割合」に関連する染色体領域の特定を、独立行政法人農業生物資源研究所家畜ゲノム研究ユニット、社団法人農林水産先端技術産業振興センターとの共同で行った。その結果、ブタ7番染色体と14番染色体上の2ヶ所に「霜降り割合」を1.1ポイント増加させる領域を検出した。そこで、これらの染色体領域を固定したデュロック種集団(呼称:ボーンブラウン)を造成した。一方、良い肉色を維持し、ドリップロスを低減させ、豚肉の霜降り割合を増強する飼料(餌)を日本農産工業(株)中部支店と独)畜産草地研究所との共同・協定研究により開発しているので、これらの成果について報告する。

豚肉の霜降りを増加
させる種豚
「ボーンブラウン」

肉質を改善
する飼料



ボーンブラウンの
肉質の一例 →

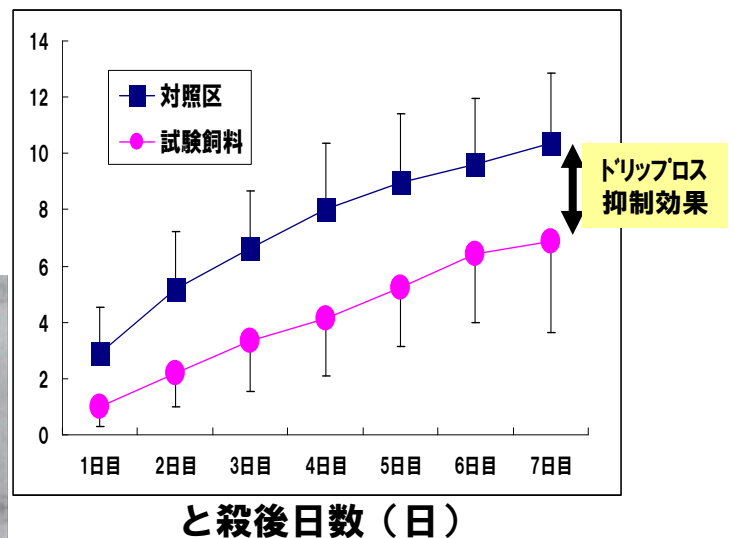


図. 飼料の違いがドリップロスに
及ぼす影響

お問い合わせ先：岐阜県畜産研究所 養豚研究部 Tel;0574-25-2185 担当 吉岡 豪
e-mail;yoshioka-go@pref.gifu.lg.jp